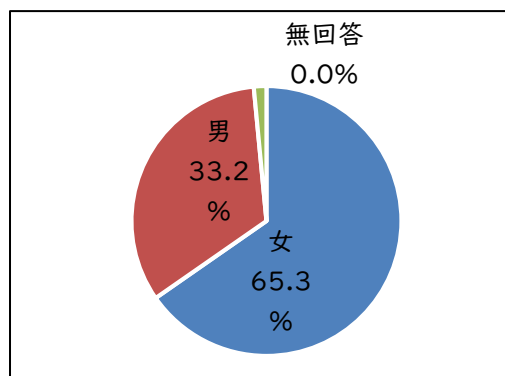


2024年度 男女共生市民講座等アンケート男女平等意識に関する実態調査

- 1 調査目的 「男女共生市民講座等」の際に行うアンケートの中で男女平等意識の調査と実態把握するもの。
- 2 調査対象 男女共生市民講座の参加者
- 3 調査項目 (1)性別 (2)年代 (3)男女共同参画社会という言葉を知っていますか。
(4)「男性は外で働き、女性は家庭を守るべき」という考え方についてどう思いますか。
(5)今後女性の社会参画を進めていくことが必要だと思いますか。
- 4 対象者 令和6年度男女共生市民講座の参加者 199人
- 5 回答者 183名(女120名 男49名 その他・無回答14名)
- 6 回収率 92.0%

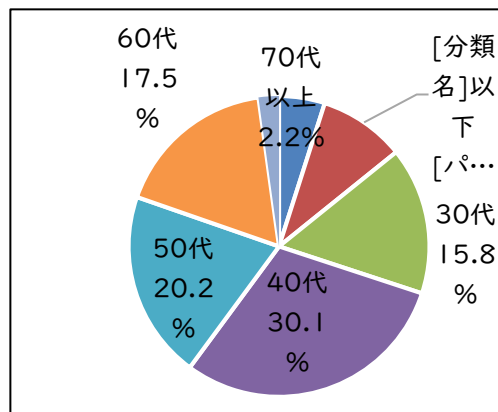
□性別を教えてください。

項目	回答数	回答率
女	130	65.3%
男	66	33.2%
その他	3	1.5%
無回答	0	0.0%
計	199	100%



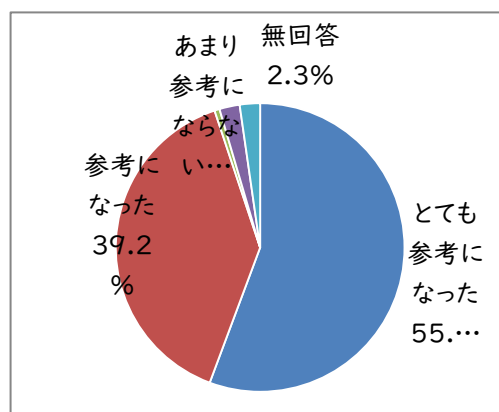
□年代を教えてください。

項目	回答数	回答率
20代以下	9	4.9%
30代	17	9.3%
40代	29	15.8%
50代	55	30.1%
60代	37	20.2%
70代以上	32	17.5%
無回答	4	2.2%
計	183	100%



□講座の内容について教えてください。

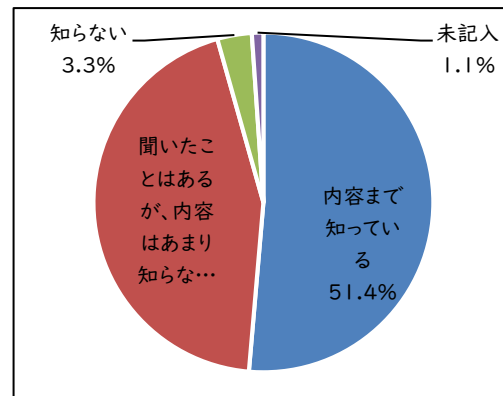
項目	回答数	回答率
とても参考になった	98	55.7%
参考になった	69	39.2%
参考にならない	1	0.6%
あまり参考にならない	4	2.3%
無回答	4	2.3%
計	176	100%



※6.23講座分は女性財団のアンケートのため項目なし。

□男女共同参画社会という言葉を知っていますか。

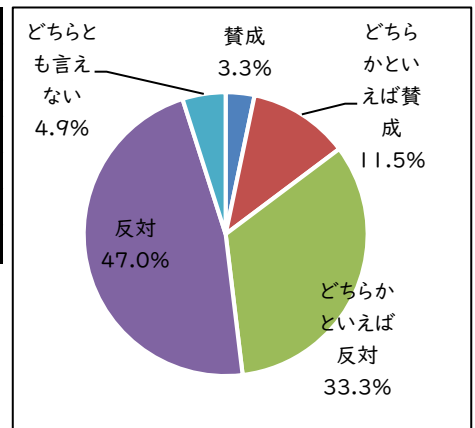
項目	回答数	回答率
内容まで知っている	94	51.4%
聞いたことはあるが、内容はあまり知らない	81	44.3%
知らない	6	3.3%
未記入	2	1.1%
計	183	100%



* 男女共同参画社会という言葉を知っている人を51.4%の人が「内容まで知っている」と回答しており、半数をこえて徐々に浸透しているが、昨年度より8.4%下降した。「聞いたことはあるが、内容はあまり知らない」と答えた人が44.3%となり、昨年度より6.8%上昇した。引き続き啓発の必要がある。

□「男性は外で働き、女性は家庭を守るべき」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。

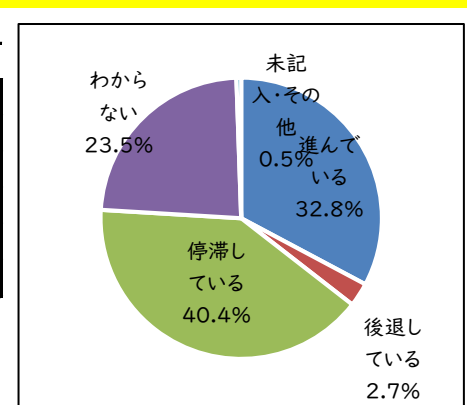
項目	男性	女性	その他	無回答	回答数
賛成	3	3	0	0	6
どちらかといえば賛成	8	12	1	0	21
どちらかといえば反対	13	38	10	0	61
反対	23	60	3	0	86
どちらとも言えない	2	5	2	0	9
計	49	118	16	0	183



* 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべき」という考え方について、「賛成」「どちらかといえば賛成」の人は、全体で14.8%であり、昨年度より6.2%下降し、性別による固定的な役割分担意識が今も根強く残っていることがうかがえる。「反対」「どちらかといえば反対」の人は、80.3%であり、昨年度と比較し7.3%上昇し、徐々に浸透しつつあるが、この割合を増やしていく必要がある。

□「男女共同参画」や「女性活躍の推進」が進んでいると思いますか。

項目	男性	女性	その他	無回答	全体
進んでいる	21	33	6	0	60
後退している	1	3	1	0	5
停滞している	20	47	7	0	74
わからない	7	34	2	0	43
未記入・その他	0	0	1	0	1
計	49	117	17	0	183



* 「男女共同参画」や「女性活躍の推進」が進んでいると思う人は、32.8%で、昨年度と比較して3.3%上昇したが、上昇率は鈍化している。一方、「後退している」「停滞している」と思う人は、全体の43.1%で昨年より上昇し、約半数近くを占めている。さらなる取組の必要性を感じる。